

華岡将生 (フルート) 遠藤征志 (ピアノ)
ワンダフルな Jazz の玉手箱

いつ開催しても、どこで開催しても、華岡将生さんと遠藤征志さんのコンビにしか描けない世界があることは言うまでもないことです。6月9日ロゴス教会だけに満ちたお二人の音の世界はこの時だけの秀逸なライブとなりました。遠藤さんの作曲された曲には曲ごとに全く違う風景が描かれており、聴き手の耳と心を開かせました。華岡さんの編曲は元曲に潜んでいる音、もしくは作曲家も気づかなかつた音たちを呼び起こし、独自の世界に聴き手を誘いました。

長年の交流が生み出すデュオの阿吽の呼吸は心地よく、ピアノのグリッサンド奏法に心沸き立ち、フルートの音色と特殊奏法に耳を広げ、お二人の会話に笑い、ジャズ初体験の方もジャンルの垣根を軽く飛び越えて、お二人の音楽世界に体を沈め、あつという間に2時間15分が過ぎていきました。

緩急自在な遠藤ワールド

アップテンポなリズムが有無を言わず押し寄せてくる《素敵な不意打ち》で体が覚醒し、音とリズムのシャワーを頭からかぶった気分。聴き終わった時、汗をきれ

夢空間 La Musica (ゆめくわんら・ムシカ)とは
 夢空間ラ・ムシカは身近なところで生の音楽を聴く機会をたくさん作りた。サロンコンサートの特異性を味わえる空間を提供したい。聴くだけに留まらず、これから羽ばたこうとしている若い音楽家や経験豊かな円熟した音楽家との交流も楽しめるコンサートを実現したい。これらの思いを形にしたのが夢空間ラ・ムシカです。
 音楽を通して、人と人が響かぬ空間を提供し続けたいと考えております。

浮かんだひととき・・・と感想を書かれたお客様もいらつしやいました。華岡将生さんにしかできない音楽を磨き上げる術に脱帽。雨雲が傘をさして遊んでいました。これからは雨の日もちよつと笑いたくなったり、空を見上げたくなる予感がした編曲でした。

編曲の魅力華岡将生ワールド

北原白秋作詞、中山晋平作曲『あめふり』。地の底から暗くくじわつと湧いてくる音の雨粒、この重苦しい空気をどうしろというの？横溝正史の世界が幕を開けたのかと、つぶやきたくほどのマイナースケール。こわーい大人の童謡が始まりました。しかし、曲が進み、特殊奏法で湧き上がるフルートの様々な音たちに耳を傾けているうちに、可笑しみがふつふつと湧き上がって、笑いたくなってきました。雨雲が楽しく遊んでいました。



天空から降りそそぐ

パイプオルガンの音色

ロゴス教会には会員の方が6年の歳月をかけて制作された(注:調整は永遠に続くそうです)高さ3.6m、幅2mの堂々としたパイプオルガンが2階に置かれています。これとは別に1階にドイツから輸入された電動パイプオルガンがあります。夢空間ラ・ムシカ





では今回初めて電動パイプオルガンを
使わせていただきました。
音程の違うパイプが同時に鳴ると、ひ
とつの音に溶け合い、音色が華やかに
なります。その華やかで荘厳な音色の
音たちが吹抜け正面上部両壁に設置さ
れたスピーカーから降りそそぐです。
これを快感と言わずして、何を快感と
いうの？でした。パイプオルガンの音
色と穏やかなフルートの音色が絡み
合ったアベマリアに心を沈めました。

遠藤征志さんとパイプオルガン

パイプオルガンはオルガニスト以外の
方が演奏するチャンスはなかなかない
ようです。所有している施設の許可が
出ないのが普通とのこと。
ロゴス教会では以前から使用を許可
いただいておりますが、なかなか活用
することができませんでした。今回、
遠藤征志さんに何気なく声掛けをし、
実現しました。ほんの1時間前に初め
て触ったパイプオルガンとは思えない
遠藤征志さんの技量に脱帽。パイプオ

ルガンの音色が室温を下げ、美しい空
気に換えたように感じました。
お客様の感想にもオルガンが新鮮でと
てもよかったです。オルガンとフルートが
とてもよかったです。降ってくるオルガン
の音色に魅了された。などが上がって
いました。

アメijingグレイス

いつ聴いても心洗われる曲の一つです。
涙がこぼれたと感想をお書きいただき
ました。この曲が生まれた経緯をほう
ふつとさせるデュオの演奏がそうさせ
たと思います。

遠藤征志さんの手による

源氏物語プロジェクト

「約千年前に書かれた源氏物語。百万
字ともなるこの壮大な文学を現代の音
曲として表現したい。音の表現者と
して『文字の源氏を音の源氏へ』表現
すると決めました。」と語る遠藤征志
さんは源氏物語54帖すべてを音で表現
する「源氏物語プロジェクト」を立ちあ
げ、第一回ピアノリサイタルを5月13
日(日)、5月20日(日)昼・夜の3
回の公演を開催されました。日本文学
者の林望先生の源氏物語解説と能楽師
津村禮次郎さんの舞と謡が加わり、遠
藤征志さんが音で描く源氏物語の世界
の雅な空気が一層身近なものに感じら
れました。

今回はその中から桐壺更衣を入内させ
るために心を砕いたお母さんに焦点を
当てて作曲した《桐壺》、抑制された
嫉妬が解き放たれた時、生霊となって
人を殺したり、帝に恨みつらみを言う
《六条の御安息所》、2曲が演奏され
ました。

演奏会前日に作曲したという《六条の御
息所》ではパイプオルガンの静かで華や
いた音色が霧雨のように降り注ぎ、六条
の御息所が呪いや恨み、つらみを昇華さ
せたのかと思えました。
曲に深い思いを込めてオルガンに向かう
遠藤征志さんと前日に作られた曲に何事
もなく没入するフルートの華岡将生さん
の姿にも魅了されました。

アンコールはサンキュー

美しいメロディで、サンキュー、サン
キュー、ありがとうって聴こえてきまし
た。「サンQ」最高。歌も聴きたいです。
(注：遠藤さんの作詞作曲です)といっ
たお客様の声寄せられました。



「お客様の声」抜粋

何十年振りかのジャズをじっくり聞かせ
て頂き、感謝です。
人間の持つ居る能力は無量大を改めて
感じさせて頂き、有難う御座いました。

ジャズは心の中の感性を想いの儘、表現
させた、リズムで有る事を再認識させて
くれる音楽であると改めて感ずる事が出
来ました。

ジャズの生演奏に触れたのは2回目です
とても心穏やかになり、心地よく聴かせ
ていただきました。遠藤さん、華岡さん
の持ち味の良いところをいっぱい聴かせ
ていただき、とても満足しています。

ジャズフルートは初めてです。もっと激
しい演奏を想像していましたが、意外に
も穏やかで、びっくりしました。大変新
鮮で刺激的でした。新分野を切り開こう
とする華岡さん、遠藤さんの意欲と熱意
を感じました。

感動しながら涙が溢れました。

初めての教会でのコンサート、とてもよ
かったです。ピアノの遠藤さんしか知ら
なかったのですが、オルガンがとても新鮮で
よかったです。とても楽しい時間でした。
能楽堂がよみがえります。

今後の予定

9月8日(土) 18時開演 17時半開場

ラグジュアリー・ジャズ・ナイト

会場：ヴィ・マエストロ

9月22日(土) 14時半開演 14時開場

アルフォーコ・イン・ロゴス

会場：ロゴス教会

10月6日(土) 18時開演 17時半開場

マエストロDE落語

桂右團治落語会第十回

会場：ヴィ・マエストロ

詳細はHP等で順次ご案内いたします。

発行者

夢空間La Musica

岡部眞弓

電話：060-61063-62080

E-MAIL: info@yumekukan.net

ホームページ

<http://www.yumekukan.net/>

